

経営比較分析表（平成29年度決算）

山形県 遊佐町

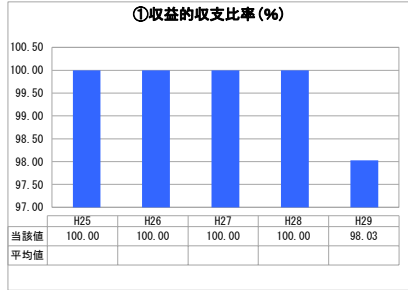
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	簡易排水	J2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.27	100.00	3,672

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
14,146	208.39	67.88
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
38	0.06	633.33

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



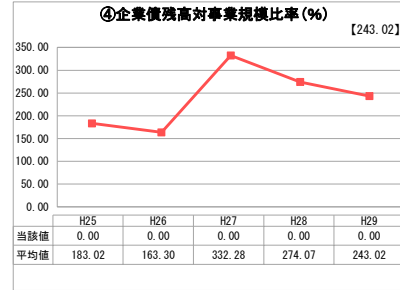
「単年度の収支」



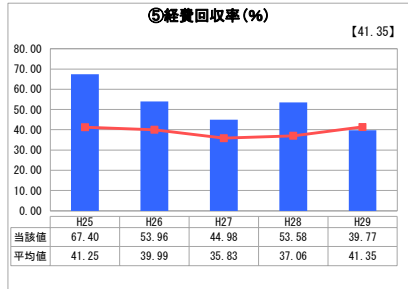
「累積欠損」



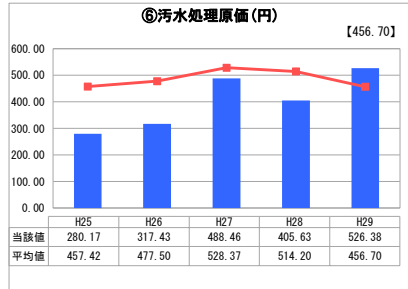
「支払能力」



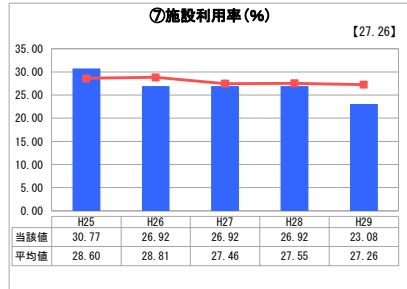
「債務残高」



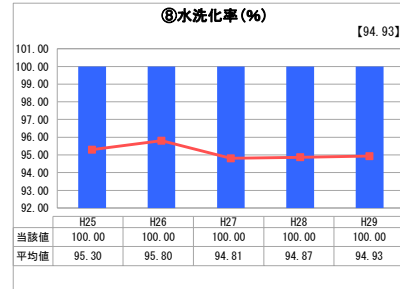
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

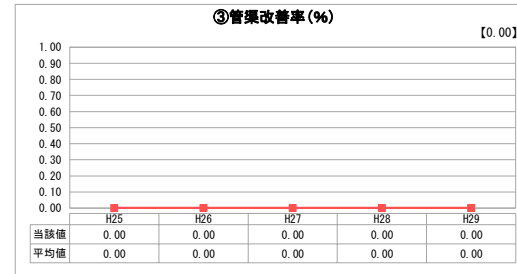
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 収益的収支比率については、例年使用料収入で賄えない維持管理費分を一般会計繰入金により実質収支0円となるようにしていたため100%で推移していたが、今年度は28年度の繰越事業（資本的収支）があり剰余金が出たため、収益的収支で繰入金を減額し実質収支が0円になるように調整したことにより100%を下回った。
- 企業債残高はなし。
- 経費回収率については、汚水処理費の増により昨年度より低い数値となった。類似団体と比較しても低い数値となっている。
- 汚水処理原価については、昨年度より有収水量が減少し、汚水処理費が増加したため高い数値となった。類似団体と比較しても高い数値となっている。
- 施設利用率は、人口減少により処理水量も減少したことにより低い数値となった。
- 水洗化率については100%で推移している。

2. 老朽化の状況について

管渠の更新等については未着手である。法定耐用年数が経過するまで期間があるが、計画的な更新について検討が必要である。

全体総括

収益的収支比率は、繰越事業の関係もあり100%を下回ったが、来年度には回復する見込みである。しかしながら経費回収率は100%を大きく下回っており、一般会計繰入金に頼らざるを得ない状況であるため、経営が安定しているとは言いがたい状況である。水洗化率は100%であるが、人口の減少や節水等での有収水量は年々減少しており料金収入も減少傾向にある。必要経費をできるだけ抑えながら収納率向上に向けた対策に取り組み、経営改善を図る必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。